

平野区

うお〜くらり〜



お願い

- 各コースともいつでも自由に参加できますが、ゆったりとした計画でご家族や友人と気軽に歩きましょう。
- 交通ルールを守り、とくに自動車などの交通事故に注意しましょう。
- 各ポイントには、スタンプの設置時間の制限や休みなどの場合がありますので、ご注意ください。なお、スタンプのない所ではクイズなどもお楽しみください。
- この「平野区うお〜くらり〜」に参加されて、わがまち平野区の再発見をしていただき、アンケートにお書きください。今後の区行政の参考とさせていただきます。
- 全コースのポイントを歩かれた方は区役所または（財）平野区コミュニティ協会（平野区民センター内）で完歩証明記念スタンプを表紙裏に押印します。
- このスタンプ帳は、1人1冊、複数冊での参加はできません。（参加中の事故・ケガ等については、主催者は一切責任を負いません）

主催 **平野区役所**
財団法人 **平野区コミュニティ協会**

※区民の参加によってできた“平野区いろはかるた”の読み札をのせています。



トイレ設置

喜連・瓜破コース

約5.8km

- | | |
|---------|------------|
| ① 瓜破出張所 | ⑦ 成本天神社 |
| ② 瓜破天神社 | ⑧ 八坂神社 |
| ③ 敬正寺 | ⑨ 如願寺 |
| ④ 区民わた畑 | ⑩ 楯原神社 |
| ⑤ 瓜破遺跡 | ⑪ クレオ大阪南 |
| ⑥ 花塚山古墳 | ⑫ 地下鉄喜連瓜破駅 |

地名の由来

●喜連（きれ）

喜連は、1798年(寛政10年)刊行の「古事記伝」に「河内の堺なり、昔は河内に属して、万葉に河内国伎人郷とある處なるを、久礼を訛くれって喜連と云うなり」と記され、かつては伎人郷とよばれ河内の国に属していた。のちに久禮と語られ、中世室町時代ごろから喜連とよばれるようになった。また、古き時代、呉の国から来た機織はたおりの技術者、呉織くわおり・穴織あなおり等の呉人が、この地に住みついたので、「くれ郷」となり、それがなまって「きれ」になったという説もある。

現在使われている「喜連」の文字は、地名を漢字で表す際、美しい・喜ばしい意味を持つ字を使う習慣から用いられたと言われている。

●瓜破（うりわり）

大化年間(645～649年)道昭法師どうしょうぼうしが当地の庵せねんで祈念の最中、天から光明のさしたご神体が降ってきたので、瓜を割わ(破)ってお供えたことから瓜破とよぶようになったという説こうぼうたいと弘法大師が高野山へ登る途中、この地を通り、水を所望したところ、住民が瓜を割わ(破)ってさしだしたことからこの名がついたという説があるが、定かではない。いずれにせよ、昔から瓜(西瓜)の産地であったことが、地名に由来しているといわれている。

喜連・瓜破コース

1

ひらのくやくしよ うりわりしゅっちようしよ
平野区役所 瓜破出張所



●所在地：瓜破7-2-7 ☎6709-6664

●スタンプ設置場所：窓口受付●9：00～17：30●土・日・祝日・年末年始休み

○平成12年国勢調査
・世帯数 13,122世帯
・人口 33,224人
男 15,908人
女 17,316人

○平成15年度 瓜破出張所管内 人口動態
出生 324人 死亡 299人
転入 2,315人 転出 2,596人

うりわりてんじん じゃ

瓜破天神社

●所在地：瓜破5-4-19 ☎6709-1103

●スタンプ設置場所：社務所 ●9：00～17：00

僧道昭^{どうしょう}がこの地で修行中天神の霊像が出現した。そこで瓜を割って供えたが、この伝承が「瓜破」という地名の起源のひとつといわれている。道昭は、当地の出身と伝えられ白雉4年（653年）遣唐使に従って入唐し、玄奘三蔵^{びんじょう}の教えを受け、帰国後諸国を遍歴して庶民に慕われたことが、続日本紀にみられる。

て
天神に
割って供えた
瓜の名とどむ

きょう しょう じ
敬 正 寺

●所在地：瓜破東5-5-10 ☎6709-8281

●スタンプ設置場所：寺務所 ●9：00～17：00

大化年間（645～649年）^{どうしやう}道昭法師により創建された永楽寺の遺跡といわれ、永楽寺の本尊五智如来（五輪仏）のうち2体の石像が安置されている。右側の大きい方が大日如来で、左側が阿弥陀如来である。豊かな頬をして落ち着いた像容から、制作年代は平安後期までさかのぼるものと推定されている。大日如来には生駒山の花崗岩、阿弥陀如来は二上山の安山岩が用いられており、府の有形文化財に指定されている。

せ
石仏が
今も見守る
敬正寺

喜連・瓜破コース

4

くみん ばたけ
区民わた畑



●所在地：瓜破東6-3 ☎ 6707-2032

- スタンプ設置場所：瓜破会館事務所受付（わた畑から北へ約250m）
- 9：30～16：00 ●日・火休館日

昭和61年7月、（財）平野区コミュニティ協会の設立10周年を記念し、また平成2年に開催された「国際花と緑の博覧会」にむけて、「区の花」を募集し、多くの意見の中から「わたの花」が選定された。

これは、江戸時代、平野の代表的産業は線綿と綿作で、綿の集散地としても栄え、明治時代には綿業の町に発展した歴史がある。

美しい花が咲き、実を結び、白い柔らかな綿が生まれる「わたの花」には、平野区の繁栄の願いが込められている。区民わた畑では、毎年河内木綿の在来種とされる「アルポレウム」種を栽培し、小学校等の体験学習教材として提供している。

わ
わたしは区の花
「優秀」と言う
花言葉

喜連・瓜破コース

5

うり わり い せ き

瓜破遺跡



●所在地：瓜破東4-4

●スタンプ設置場所：瓜破霊園事務所内 ●9：30～16：00 ●月曜日休園

瓜破遺跡は、大和川の河床を中心とする付近一帯の弥生時代の代表的な遺跡で、前期から後期にわたる土器をはじめ、石器、木器、銅鏃どうさくなどが出土している。また、中国の王莽時代（紀元8～22年）の貨泉（銅貨）が出土したことは、中国文化の影響を物語るものである。

現在は、遺跡案内板が霊園入口に設置され、花塚山・ゴマ堂山の2基の古墳が霊園内に現存している。

え
絵のような
緑をうつす
ひょうたん池